



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年2月16日

上場会社名 **神鋼鋼線工業株式会社**

(コ・ド番号 5660 東証・大証 第2部)

(URL <http://www.shinko-wire.co.jp>)

問合せ先 代表者役職名 取締役社長
氏名 水口 征之
責任者役職名 常務取締役(総務本部長)
氏名 片岡 滋正

TEL (06) 6411 - 1051

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有

影響が僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しています。

税金費用は、各社の財務諸表上の税引前四半期純利益に法定実効税率を使用して計上しています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 有

連結(新規) 社 (除外) 社 持分法(新規) 1社 (除外) 社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	15,739	6.0	1,045	40.1	838	58.3	503	556.4
18年3月期第3四半期	14,849	5.4	746	42.0	529	49.4	76	74.5
(参考)18年3月期	20,327		1,161		811		235	

	1株当たり	潜在株式調整後1株当
	四半期(当期)純利益	たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	9 04	
18年3月期第3四半期	1 33	
(参考)18年3月期	4 11	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のセグメント別売上高の状況は次の通りです。

(1) 線材製品関連事業

(PC関連製品)公共投資関連につきましては、公共事業予算の縮小のため依然として厳しい市場環境が続きましたが、民間投資関連につきましては、マンション建設・倉庫物件需要が底堅く推移しました。このような環境下で当社は、新技術・高付加価値製品の提案型営業、「官需から民需への転換」をキーワードとして受注に注力した結果、数量・金額とも前年同期を上回りました。

(ばね・特殊線関連製品)家電・精密向けは在庫調整の影響がほぼ一巡し、また主要な需要分野である自動車産業向けは、当社の独自技術が評価されて堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

(ワイヤロ-プ製品)国内向けにつきましては、総需要が昨年に比べやや増加し、建機用ロープ、デッキクレーンなどの受注が増加しましたが、一般土建、海上土木用が落ち込み、全体として数量はやや減少しました。また輸出は受注の増加によりまして堅調に推移しました。尚、売上金額については、販売価格の是正により国内・輸出とも増加しました。

その結果、線材製品関連事業全体の売上高は14,822百万円と前年同期に比べて10%の増収となりました。

(2) エンジニアリング関連事業

主力製品である吊構造用ケーブルは、建築向けは増加しましたが、橋梁向けの大型物件がなく、また橋梁補強用ケーブルも大幅に減少したため、売上高は867百万円と前年同期に比べて35%の減収となりました。

(3) 不動産関連事業

売上高は、49百万円(前年同期比18%減)となりました。

以上の結果、売上高は15,739百万円と前年同期に比べ増収となり、損益面では諸資材の高騰の影響によって厳しい状況が続いておりますが、販売価格の是正につとめるとともに、徹底したコスト削減を図り、営業利益、経常利益はそれぞれ1,045百万円、838百万円となり、また四半期純利益は503百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	31,252	14,007	44.8	251 44
18年3月期第3四半期	31,385	13,674	43.6	243 72
(参考)18年3月期	30,359	13,729	45.2	246 39

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、892百万円増加の31,252百万円となりました。これは主として投資有価証券が1,301百万円増加し、現金及び預金412百万円の減少によるものです。

負債は、614百万円増加の17,244百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が754百万円増加し、退職給付引当金198百万円の減少によるものです。

純資産は、277百万円増加の14,007百万円となりました。これは主として当四半期純利益503百万円の計上と期末配当167百万円を実施したことによるものです。また、自己資本比率は44.8%となりました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	21,960	1,180	700

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 12円56銭

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の連結業績予想につきましては、前回公表(平成18年11月16日)いたしました業績予想から変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

[添付資料]

(要約) 四半期連結貸借対照表 (要約) 四半期連結損益計算書

[添付資料]

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成18年12月31日)		前第3四半期 (平成17年12月31日)		増減		前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%				%
流動資産								
1.現金及び預金	1,588		2,634		1,045	2,001		
2.受取手形及び売掛金	8,168		7,907		261	7,693		
3.たな卸資産	4,631		4,843		212	4,678		
4.その他	781		809		28	801		
流動資産合計	15,170	48.5	16,194	51.6	1,024	15,175	50.0	
固定資産								
1.有形固定資産								
(1)建物及び構築物	3,873		3,972		98	3,961		
(2)機械装置及び運搬具	4,725		4,974		249	5,002		
(3)土地	3,454		3,454		-	3,454		
(4)その他	149		162		12	162		
有形固定資産合計	12,203	39.1	12,564	40.0	360	12,580	41.4	
2.無形固定資産	38	0.1	25	0.1	12	24	0.1	
3.投資その他の資産								
(1)投資有価証券	2,243		972		1,271	942		
(2)その他	1,596		1,628		31	1,637		
投資その他の資産合計	3,840	12.3	2,600	8.3	1,239	2,579	8.5	
固定資産合計	16,082	51.5	15,190	48.4	891	15,184	50.0	
資産合計	31,252	100.0	31,385	100.0	132	30,359	100.0	
(負債の部)								
流動負債								
1.支払手形及び買掛金	3,128		2,717		411	2,374		
2.短期借入金	6,061		7,461		1,400	2,561		
3.未払費用	1,181		1,034		147	1,258		
4.その他	663		675		12	849		
流動負債合計	11,034	35.3	11,888	37.9	854	7,043	23.2	
固定負債								
1.長期借入金	4,551		3,872		679	7,730		
2.退職給付引当金	1,647		1,937		290	1,846		
3.その他	11		11		-	11		
固定負債合計	6,210	19.9	5,821	18.5	388	9,587	31.6	
負債合計	17,244	55.2	17,710	56.4	465	16,630	54.8	
(資本の部)								
資本金	-		8,062	25.7	-	8,062	26.6	
資本剰余金	-		6,354	20.3	-	6,354	20.9	
利益剰余金	-		413	1.3	-	254	0.8	
その他有価証券評価差額金	-		196	0.6	-	178	0.6	
自己株式	-		526	1.7	-	612	2.1	
資本合計	-		13,674	43.6	-	13,729	45.2	
負債及び資本合計	-		31,385	100.0	-	30,359	100.0	
(純資産の部)								
株主資本								
1.資本金	8,062	25.8	-	-	-	-	-	
2.資本剰余金	6,354	20.3	-	-	-	-	-	
3.利益剰余金	82	0.3	-	-	-	-	-	
4.自己株式	615	2.0	-	-	-	-	-	
株主資本合計	13,884	44.4	-	-	-	-	-	
評価・換算差額等								
1.その他有価証券評価差額金	122	0.4	-	-	-	-	-	
評価・換算差額等合計	122	0.4	-	-	-	-	-	
純資産合計	14,007	44.8	-	-	-	-	-	
負債及び純資産合計	31,252	100.0	-	-	-	-	-	

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

期 別 科 目	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		増 減		前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売 上 高	15,739	100.0	14,849	100.0	889	6.0	20,327	100.0
売 上 原 価	12,334	78.4	11,773	79.3	561	4.8	16,084	79.1
売上総利益	3,404	21.6	3,075	20.7	328	10.7	4,243	20.9
販売費及び一般管理費	2,358	15.0	2,329	15.7	29	1.3	3,081	15.2
営業利益	1,045	6.6	746	5.0	299	40.1	1,161	5.7
営業外収益								
1. 受取利息	28		20		8		31	
2. 受取配当金	10		11		0		11	
3. 持分法投資利益	27		-		27		-	
4. 投資有価証券売却益	-		-		-		8	
5. その他	4		27		22		24	
計	71	0.5	58	0.4	12	22.0	75	0.4
営業外費用								
1. 支払利息	145		160		15		214	
2. たな卸資産処分損	45		-		45		75	
3. 持分法投資損失	-		27		27		-	
4. 出向者負担金	25		15		9		53	
5. その他	61		71		8		84	
計	277	1.8	274	1.8	2	1.1	426	2.1
経常利益	838	5.3	529	3.6	308	58.3	811	4.0
特別利益								
1. 投資有価証券売却益	-		154		154		154	
2. 関係会社株式売却益	-		-		-		45	
計	-	-	154	1.0	154	-	200	1.0
特別損失								
1. 固定資産売却損	-		443		443		443	
2. 技術契約終了精算金	-		-		-		67	
3. 役員退職慰労金	16		48		32		48	
4. 投資有価証券評価損	-		-		-		17	
5. 投資有価証券売却損	-		5		5		5	
計	16	0.1	496	3.3	480	96.7	581	2.9
税金等調整前四半期(当期)純利益	822	5.2	187	1.3	634	338.4	429	2.1
税金費用	318	2.0	110	0.8	207	187.4	194	0.9
四半期(当期)純利益	503	3.2	76	0.5	427	556.4	235	1.2